

# 遼寧だより(令和5年8、9月)

## ■ 8、9月の実施事項について

8/23 (水)	渡航(成田-大連:飛行機)	… (1)
8/24 (木)	大連事務所訪問 移動(大連-瀋陽:高速鉄道)	
8/25 (金)	遼寧テレビ取材	
8/27 (日) ~ 8/28 (月)	国際課訪中日程同行	
8/29 (木)	瀋陽師範大学クラス分けテスト	入学手続き
8/30 (水)	居留許可申請用体格検査	
9/4 (月)	瀋陽師範大学始業式	… (2)
9/15 (金)	瀋陽師範大学留学生始業式	
9/20 (水)	遼寧省外事弁公室羅麗主任面会	
9/21 (木)	瀋陽師範大学日本語学科で授業	
9/26 (火) ~ 9/27 (水)	瀋陽師範大学運動会	
9/27 (水)	遼寧省国慶節レセプション参加	
9/28 (木) ~ 10/6 (金)	中秋節、国慶節の休暇	
9/28 (木) ~ 9/30 (土)	四川省視察	… (3)

### (1) 遼寧省到着

8月23日(水)に成田空港から遼寧省に向かいました。大連に到着すると、天気がよくとても空気が澄んでおり、青空が広がっていました。あたりを見渡すと、大きなビルやマンションが数多く立ち並んでおり、圧倒されました。空港では遼寧省外事弁公室職員の温亮(おんりょう)さんが出迎えてくださいました。この日は小規模な地震が発生した影響で、高速鉄道がストップしてしまい、大連で一泊することになりました。珍しいハプニングにも見舞われましたが、翌日には無事、瀋陽に到着することができました。中国の高速鉄道は、日本の新幹線と似ていますが、日本に比べてセキュリティ検査がとても厳しく、出発前に荷物検査と身体検査を受けなければなりません。瀋陽に向かうまでの間、省政府の方と中国語で簡単な会話をしていくうちに、少しずつ今後中国で生活をしていく実感が湧いてきました。瀋陽に到着後には、瀋陽師範大学国際

教育院長をはじめ、今後お世話になる先生方が温かく歓迎してくださいました。今後の生活にますます期待が膨らみました。



瀋陽師範大学 正門

## **(2) 瀋陽師範大学始業式・授業開始**

中国では、9月から新学期が始まるため、この日は今年から大学生になる中国人新生が多く訪れ、学校全体の始業式が盛大に開催されました。会場は多くの学生で埋め尽くされ、新生の代表挨拶等をはじめ、在校生による歌や楽器演奏、また京劇等の素晴らしいパフォーマンスが行われました。

瀋陽師範大学は、中国東北部の遼寧省瀋陽市にある省立の大学です。1951年に設立され、前身は東北教育学院です。1953年には国務院の許可を得て瀋陽師範学院に改名されました。当時の中国東北地方において最も早く創設された2校の本科師範総合大学のうちの1校でした。2002年に遼寧省政府は国家教育部の許可を得て、瀋陽師範学院と遼寧教育学院を合併し、現校名の瀋陽師範大学が発足されました。現在は、哲学・経済学・法学・教育学・文学・歴史学・理学・工学・管理学・芸術学の10分野にわたる総合大学となっています。

校舎は、瀋陽中心部から車で40分ほど離れた郊外にありますが、地下鉄やタクシー、バスなどを利用すれば移動に不便はありません。中国では公共交通機関の運賃はどれも安く、例えばバスは一回の乗車運賃が1元（約21円）又は2元です。

校内の敷地は広大で自然に囲まれています。敷地内には、食堂や売店をはじめ、美容院等も揃っており、生活に必要なものはほとんど全て調達できるようになっています。富山県からの派遣職員は、外国人留学生を対象とする教育機関「国際教育学院」に在籍し、中国語研修生として留學生活を送ります。

国際教育学院は、1985年に国際文化交流センターとして設立されました。1993年に国際文化交流学院と名称を変更し、2002年に国際教育学院となりました。

中国語コースには、9月から始まる秋期授業と3月から始まる春期授業があり、今期（秋期）は世界18カ国から102名の新しい学生が入学しました。班（クラス）は、難易度の高い順に、高級（3クラス）、中級（1クラス）、初級（3クラス）に分けられています。学習段階に応じてクラス分けがされているので、効率よく学習することができます。私はクラス分け試験の結果、初級クラスを受講しています。（時間割は下表のとおり。）

私の所属するクラスにはインド人、韓国人、イラン人等が在籍しており、日本人は私を含めて3人です。授業はすべて中国語で行われ、授業中は学生の活発な発言が飛び交っています。また、休憩時間や放課後には同じクラスの学生たちと中国語で色々な会話をすることで、授業内外問わず中国語に触れる生活をしています。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:20～ 9:55	汉语综合 (文法)	汉语听力 (リスニング)	汉语综合 (文法)	汉语听力 (リスニング)	汉语综合 (文法)
10:10～ 11:45	汉语综合 (文法)	汉语口语 (会話)	汉语听力 (リスニング)	汉语口语 (会話)	汉语综合 (文法)

※午後は選択授業（HSK、太極拳・旅行中国語）や自習等。



国際教育学院 留学生寮



開学典礼（始業式）の様子

### (3) 四川省視察（成都市）

国慶節の休暇を利用して、9月28日から30日の2泊3日で四川省へ視察に行きました。四川省は中国西南部に位置し、今回訪れた成都市が省都です。気候は瀋陽に比べると非常に暖かく湿潤で、過ごしやすい気候でした。国慶節ということもあり、観光地は大勢の人で賑わっていました。

成都市は、古来より「天府の国」と呼ばれており、三国時代には蜀の都がおかれた都市です。歴史ある成都市で訪れた場所をいくつか紹介します。

「武侯祠」は、諸葛亮やその主君である劉備が祀られている霊廟です。祠内には劉備の墓や諸葛亮の出師表などが展示されています。

「杜甫草堂」は、唐時代の詩人杜甫が成都に住んでいた住居の跡地に建てられた施設です。杜甫は759年から約4年間成都に住み、240首あまりの詩を残しました。草堂内には、杜甫の貴重な資料が収蔵された博物館のほか、杜甫が寝起きしていたあばら家や、庭園などがあります。

「宽窄巷子」は成都の三大歴史文化保護地区の1つで、清時代に兵士たちの駐留地として開かれた城郭として栄えていました。現在では、歴史ある古い町並みを残したモダンな雰囲気の商品エリアとなっています。

「成都パンダ繁育研究基地」は、パンダやレッサーパンダなどの中国特有の絶滅危惧野生動物の保護と繁殖を目的とした施設で、約240ヘクタールの敷地に200頭以上のパンダが飼育されています。

今回の視察で、初めて東北地方以外の場所を訪れましたが、古い町並みや煌びやかな建物、そして四川省ならではの食文化など、東北地方にはない魅力がたくさんありました。今後も中国各地を訪れ、様々な文化の違いに触れたいです。



武侯祠



杜甫草堂



宽窄巷子



成都パンダ繁育研究基地